

## 日本呼吸療法医学会用語集改訂第3版作成の要点および凡例

日本呼吸療法医学会 用語集改訂委員会  
委員長 大塚 将秀

改訂にあたってのコンセプトを以下のとおりとした。

### 1. 当用語集の目的・使命について

- ・当学会に関連した専門用語等に関し、英語（原語）に対応した日本語訳を提示することにある
- ・雑多な訳語が恣意的に使用されることで生じる混乱の防止を目的とする
- ・当学会の学術集会や機関誌で使用される用語を統一する
- ・用語の不適切使用が拡散することを抑制し、呼吸療法関連の学術・文化の発展に寄与する
- ・掲載する用語の選択は、第一に科学的論理的適切性を重視し、次に現場での使用頻度を考慮する
- ・辞書や解説書ではないので用語の解説は基本的に行わないが、類似語と誤用する可能性がある場合は最小限の注釈をつける
- ・原則として固有名詞や商標/登録商標は掲載しない
- ・すでに複数の用語が使用されている場合は第2、第3日本語訳として記載するが、順位は正当性・使用頻度・認知度をもとに決める
- ・和英の用語集を新たに作成する

### 2. 公的機関等からの通知や学会等の推奨に関して

- ・公的機関からの通知や関連学会からの強い推奨がある用語については、それらに従う
- ・他領域（化学、工学など）から導入された用語については、オリジナルの用法を尊重する

### 3. 規則や文法を優先させるが、広く使用されて定着している用語は、明らかな誤りでない限りそれを追認する

- ・過去に使用されたが役目を終えた語は削除する
- ・消えゆく語であっても、存続を望む声が少数でもあれば今回は残し、次回以降の検討課題とする
- ・科学の進歩とともに適切な用語自体が変化した場合は、時代に合わせて追従させる

### 4. すでに広まっている誤った用法について

- ・可能な限り修正するが、急激な変化で生じる混乱に配慮して緩徐に行う

### 5. 他団体から公表されている用語集との整合性について

- ・混乱を避けるため、できる限り統一する
- ・他団体の専門領域に属する用語は、その領域をリードする団体の用語集に準拠する

- ・人工呼吸や関連する呼吸生理学用語に関しては、当学会がリードすべく、十分な吟味の上で提案する

- ・基本的には、日本医学会医学用語辞典 WEB 版に準拠する

## 6. その他

- ・類似語や対になる用語は整合性を重視する

- ・当用語集は、その後しばらくの間「標準的」な使用法として参照されるため、十分な議論を行った上で作成する

- ・斬新な用語も積極的に取り入れるが、適切な和訳語がまだ存在していない場合や、今回和訳語を定めてしまうことが適切でないと判断したものは、【暫定】と付記するか、英語の見出しのみ設け和訳語欄には「－」と記載する

凡例は、従来の記載法を踏襲し、次のとおりとした。

- ・単語または単語の一部に省略された使用法がある場合は[]内に記載する

- 例) 吸気終末休止[期] : 「吸気終末休止」と「吸気終末休止期」

ineffective [inspiratory] effort

: 「ineffective inspiratory effort」と「ineffective effort」

pneum[at]ocele : 「pneumatocele」と「pneumocele」

- ・同じ意味で2つの単語や語が用いられる場合は()内に記載する

- 例) 圧受容器(体) : 「圧受容器」と「圧受容体」

nutritional disorder (disturbance)

: 「nutritional disorder」と「nutritional disturbance」

- ・同じ意味で3つ以上の単語が用いられる場合は / で区切って記載する

- 例) respiratory distress/embarrassment/difficulty

: 「respiratory distress」と「respiratory embarrassment」と

「respiratory difficulty」

- ・上記[]や()で記載するとわかりにくいものに関しては複数の項目に分ける

- ・()や / で記載する順番は、推奨する順番または使用頻度順とする

- ・今回和訳語を定めてしまうことが適切でないと判断したものには【暫定】と付記する

- ・適切な和訳語がまだ存在していない場合は、訳語欄に「－」と記載する